

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、皮膚扁平上皮癌、尿路上皮癌、消化管癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ヒトパピローマウイルスと皮膚扁平上皮癌、尿路上皮癌および消化管癌の関連に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 助教 松崎 生笛

3. 研究の目的

ヒトパピローマウイルス (HPV) と子宮頸部癌の関係は詳細な解析が行われてきましたが、他の臓器における HPV 感染と発現の関係は明かになっていません。本研究の目的は、皮膚における扁平上皮癌、尿路における尿路上皮癌および消化管癌を対象として、HPV 感染と発癌の関連性を明かにする事です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

皮膚扁平上皮癌あるいは尿道・膀胱・腎尿管の尿路上皮癌、食道・胃・腸の癌の患者さんで、平成7年1月1日から令和6年6月30日までの期間中に、外科切除治療を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、本学で切除された病理組織に関する情報です。個人情報公表される事はありません。

(3) 方法

本学附属病院に保管されている病理組織を用いて、腫瘍組織におけるヒトパピローマウイルスの感染の有無を免疫組織化学的および遺伝子学的に検索します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当 松崎 生笛

TEL:073-441-0635 FAX:073-444-5777

E-mail:m_ibu@wakayama-med.ac.jp